

鹿児島大学病院

研修医 伊比 裕太郎 2018年1月

鹿児島大学病院における地域医療研修として1ヶ月間お世話になりました、初期研修医2年目の伊比裕太郎と申します。1ヶ月という短い期間でしたが、出水総合医療センターを中心に高尾野・野田の各診療所や出水保健センター、上場診療所と様々の場所で研修させていただきました。お世話になりました先生方ならびに関係者の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

私の出身は鹿児島市内で、生まれてからこの方ずっと鹿児島市内で育ってきました。これまで出水の地で生活したことはありませんでしたが、以前出水で研修をしてきた先輩や同期の研修医の先生方から、出水での地域医療研修はいろいろと学ぶことが多く有意義であるという話を数多く耳にしたためこちらで研修をおこなうことを決めました。

各場所での研修についてですが、まず高尾野診療所では実際に外来診療を経験させていただきました。限られた時間内で数多くの患者さんを診察し、処方までこなさなければいけない大変さを実感でき大変貴重な経験になりました。外来診療をおこなう上では医学的知識だけでなく、上手な時間の使い方や、丁寧でありながら的をしばった診察スキルが必要だと再認識できたように思います。

野田診療所では内視鏡やエコーを実際にご指導いただき、外来診療における様々なノウハウやコツまでいろいろと教えていただきました。これまであまり意識してこなかった視点からの話ばかりで勉強になることばかりでした。

出水保健センターでは母子健康相談、3歳児健診を見学させていただきました。地域全体で母子をサポートしていく体制について学ぶことができ、大変勉強になりました。

上場診療所では本物のへき地医療というものを体験することができました。月2回という限られた診療体制であり、私たちが普段身を置いている恵まれた医療環境や、その中でおこなう充実した診療との違いについて考えさせられる大変貴重な経験となりました。

出水総合医療センターの院内研修では、腎臓内科を中心に看護・薬剤科・臨床工学・臨床検査・地域医療連携室・リハビリテーションなどの講義や体験をさせていただきました。すでに将来腎臓内科医としてやっていくことを決めていることもあり、腎臓内科での研修は将来の自分に直接つながる大変有意義なものばかりで、楽しく研修させていただきました。各部署での研修では多職種の仕事現場を経験することができ、多職種で作り上げていくチーム医療の重要性を再認識できました。

最後になりますが、今回大変お忙しい中時間を割いて丁寧にご指導してくださった方々に改めて深く感謝申し上げます。この1ヶ月間の貴重な経験を今後の鹿児島での医師人生に活かしていければと思います。本当にありがとうございました。